腫　瘍　内　科　学

M-04-26-L

オーガナイザー

内科学第３講座・腫瘍センター　病院教授　清水 俊雄

Ⅰ　授業の目的

本邦死因のトップである悪性腫瘍の疫学、概念と発生分子機序を理解し、「腫瘍内科学」の基盤であるがん薬物療法の基本理論および効果、副作用等を学習するとともに、悪性腫瘍に対する薬物療法に関する最新知識やがんゲノム医療、がん新薬開発の仕組みを理解する。

Ⅱ　到達目標

1.腫瘍内科学および腫瘍内科医（Medical Oncologist）の役割に関して理解する。
2.がん遺伝子、がん抑制遺伝子を説明できる。
3.シグナル伝達系を説明できる。
4.腫瘍の転移・浸潤・播種の機序を説明できる。
5.悪性腫瘍に対する薬物療法の目的・役割を説明できる。
6.抗悪性腫瘍薬（殺細胞性抗がん剤）の作用機序と副作用を説明できる。
7.分子標的治療薬剤の作用機序と副作用を説明できる。
8.がん免疫療法薬剤の作用機序と副作用を説明できる。
9.がん薬物療法の効果判定法および有害事象評価基準等を説明できる。
10.がん薬物療法におけるチーム医療の重要性を述べることができる。
11.がんゲノム医療について述べることができる。
12.がん新薬開発の仕組みや、臨床試験・治験に関して述べることができる。

Ⅲ　教育内容及び講義日程表

NO.	月　日	曜日	時限	項目	担当
1	R5.11.20	（月）	1	腫瘍内科学総論	清水
2	R5.11.27	（月）	1	腫瘍内科学各論	清水

Ⅳ　教育方法

講義形式で行う。

Ⅴ　評価の方法

各講義時間内に実施する筆記試験により評価する。

Ⅵ　推薦参考書

日本臨床腫瘍学会編：入門腫瘍内科学

	1 基盤的資質				2 医師としての基本的資質			3 コミュニケーション能力			4 医学的知識												5 医学の実践																		6 医学的（科学的）探究					7 社会貢献		
	問題解決型能力	情報技術	語学能力	社会人としての一般教養	倫理観	チーム医療	自己啓発	人間関係の構築	他者への思いやり	情報交換	細胞の構造と機能	人体の構造と機能	人体の発達、成長、加齢、死	疾病の機序と病態	検査・画像診断技術	基本的診察知識	疾病の診断・治療方法	EBMの利用	生物統計、疫学	行動科学・医療経済	法令、研究倫理	患者尊厳	基本的臨床技能	臨床推論・検査所見・画像診断	診療録作成	治療選択	救急医療	緩和・終末期・看取りの医療	介護と在宅医療	患者説明	医療安全・感染予防	予防医学	副作用・薬害	プレゼンテーション技能	和歌山県医療	保健制度	基礎医学研究	臨床医学研究	社会医学研究	研究成果の公表	研究倫理の実践	地域貢献	福祉活動	ボランティア活動
卒業時コンピテンス	レベルE	レベルF	レベルE	レベルE	レベルE	レベルF	レベルF	レベルF	レベルE	レベルE	レベルE	レベルE	レベルF	レベルE	レベルF	レベルF	レベルD	レベルE	レベルF	レベルF	レベルF	レベルE	レベルF	レベルF	レベルF	レベルE	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルE	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF
腫瘍内科学																																															